報告資料２

第５回　地域づくり部会　会議概要

日　　時	令和 8 年 8 月 27 日（木）　午後 2 時 40 分～3 時 20 分
会　　場	豊栄地区公民館　第二研修室
出席委員	佐藤(茂)委員、細井委員、高橋委員、近藤委員、小熊委員、橋本委員、大島委員、小林委員
欠席委員	恩田委員、佐藤(康)委員
事務局 関係課	地域総務課（加藤補佐、外山主事） 北出張所　大倉所長
会議要旨	（１）７月２５日（土）「まんまる食堂」の振り返り アンケートの集計結果をもとに、振り返りを行った。 ・トマトカレーの味については、回答者 33 名全員が「とても美味しかった」または「美味しかった」と回答し、大変好評であった。 ・北区がトマトの産地であることについては、22 名が「よく知ることができた」「少し知ることができた」と回答し、北区産トマトを知ってもらう機会となった。（その他 11 名は「もともと知っていた」と回答） ・「今回の取り組みを通して、北区産農産物を食べたり、買ったりしたいと思ったか」という問いに対し、32 名が「とても思った」「思った」、1 名が「思って買っている」と回答したことから、今回の取り組みを通して、北区産農産物への関心を高めることができた。 ・自由記述では、「家でも作ってみたい」「レシピを知りたい」「カレー以外のトマトを使用した料理も食べてみたい」など、好意的な意見が多く寄せられた。 （２）１０月１０日（土）「キテ・ミテ・キタ区」に向けた検討 ① 試食について ・試食を提供するかどうか → 多数決の結果、試食を提供することに決定。 ・試食の提供形式 → 大きな鍋１つ分を調理し、なくなり次第、試食の提供を終了する。 ・主食について ご飯、パン、ナンのいずれにするか検討した結果、提供のしやすさを考慮し、パンまたはナンが適しているとの意見が出た。 ・保健所への届出について 今回は「完全無償」での試食提供となるため、特段の届出等は不要。 ただし、提供にあたっては衛生管理を徹底すること。（保健所 食の安全推進課に確認済み） ② 調理場所について ・さわやか健康センター２階「栄養指導室」を借用する。

	③ 食材調達について ・「まんまる食堂」のときと同様の分担で食材を調達する。 ④ パネルについて ・北区の農産物 PR パネル →産業振興課から借用する。 ・部会の活動紹介パネル　→A１サイズ４枚程度を作成する。 **（３）次回の内容** ・当日の最終確認 ・役割分担の決定 ・パネルの内容確認 ・調理場所の現地確認 以上

第３回　福祉教育部会　会議概要

日　　時	令和８年８月２７日（木）　午後２時４５分～午後３時２５分
会　　場	豊栄地区公民館　大講堂
出席委員	坪木委員、小田委員、小林委員、遠藤委員、日下委員、佐久間委員、小柳委員
欠席委員	菊地委員、草間委員、渡邉委員
事務局 関係課	健康福祉課（井越課長）、北区教育支援センター（上村所長）、豊栄地区公民館（渡辺館長）、地域総務課（田中補佐、串田副主査）
会議要旨	１　アンケート結果の共有 ・実施したアンケート結果の途中経過 ①こらっせ松浜市（6/27）　回答数 54 件 ②地域福祉推進フォーラム(7/30)　回答数 24 件　計 78 件 ・最終的な結果では、「年齢・性別」ごとの回答傾向をクロス集計する →リーフレットを作るには「どの年代が、どんなことを考えているか」が重要 ・設問だけで足りない具体的な情報は、次回アンケート実施時に回答者へ口頭で聞いてみてもよいのではないか、という意見あり ２　こらっせ松浜市での反省 ・委員のビブス着用、のぼり旗設置など、自治協委員の活動とわかるような準備が必要 ３　リーフレットの内容 ・委員の写真やイラストを掲載し、見てもらいやすいデザインにする ・「例：地域とのつながりを求める人は意外と多い」など、アンケート調査をして分かったことをメインで掲載したい ・現状、課題などを導入文として冒頭に盛り込む ↓ 次回、９月部会で大まかに内容を決めたい ４　リーフレットの仕様・配布方法 ・全戸配布の方向で一致 ・紙質、紙の大きさ、両面印刷などの仕様は業者からの見積を参考に検討 以上

第４回　自然文化部会　会議概要

日　　時	令和 8 年 8 月 27 日（木）　午後 2 時 45 分～4 時 30 分
会　　場	北区役所　視聴覚室
出 席 委 員	藤田委員、倉島委員、諏訪委員、飛鳥井委員、馬委員、吉田委員
欠 席 委 員	マルシェフ委員、野口委員、渡邉委員、桜井委員
事　務　局 関　係　課	区民生活課（吉岡課長）、産業振興課（高橋課長） 地域総務課（本田係長、小田主事）
会 議 要 旨	１　協議事項 （１）　競技エリアについて ・　島見浜海水浴場とする ・　マイクロプラスチック収集するための海岸特別ルール採用 （２）　募集要項 ・　３０チーム（１チーム：３～５名） ・　１２歳以下の参加については、大人（１８歳以上）を含む ・　チラシの確認（集合場所の明確化、マイクロプラスチックの収集を強調） （３）　当日のスタッフ ・　スポ GOMI 連盟　２名 ・　主催者挨拶　藤田会長 ・　本部対応職員　３～４名 ・　駐車場案内及び競技エリア審判　５～８名（大学生ボランティア３名依頼） 具体的な役割分担については、次回の部会で決定する。 （４）ルールブック（案）について ・　主催を「新潟市北区自治協議会」に変更 ・　競技エリアを修正（南浜船だまりを除外する） ・　注意事項を修正（海、突堤、松林には入らない） ・　大会におけるマイクロプラスチックの定義を確認する ・　コミの分別方法、各チームに渡すゴミ袋の枚数を確認する （５）その他 ・　１～3 位のチームには、賞状を授与する ・　賞品は、北区の農産物（内容は事務局に一任） 賞品の対象については、1～3 位と予算に応じ 10、20 位等検討 ・　参加賞について 全員に飲料水を配布し、小学生以下の参加者にお菓子を配布する ・　応募状況によって、近隣の小・中学校にチラシを配布する ２　その他 次回会議は、令和８年９月２４日（木）本会議終了後、北区役所で開催